

ケンさんの



いんた=なしよなる

Volume 24

国際コーナー

アメリカ選挙人団

4年ごとにアメリカでは大統領選挙が行われます。候補者の名前が票に載っているため、これは直接選挙に見えますが、実はそうではありません。アメリカの大統領選挙は選挙人団という制度を使った間接選挙です。

建国時、交通や通信はまだ難しかったため、全国で直接選挙を行うのは非実用的とされました。さらに、アメリカの建設者は一般国民を信頼しておらず、識字率の低い一般国民はいい大統領を選べないと思っていました。彼らが設立した選挙人団の制度では、州ごとにその州の両院の合計議席と同じ数の選挙人が与えられます。それは州によって3人から55人で、全国合計で538人です。大統領選挙を行う時、国民ではなく選挙人たちが投票して、過半数を獲得した候補が大統領になるという制度でした。

最初は政党がなく、選挙人は自分が一番ふさわしい候補に投票しましたが、現在は大分変わりました。一般選挙が行われ、国民は大統領候補へ投票します。そして、州ごとに一般選挙で過半数を獲得した候補はその州のす

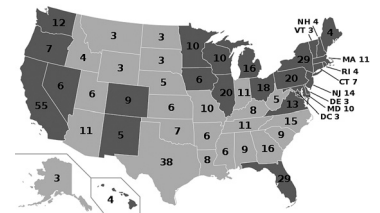
べての選挙人してもらいます。

現在の選挙人団の利点は、まず、一般国民が大統領選挙に影響できることです。そして再集計をする時、全国ではなく票数が近い州だけの再集計が必要ということなのです。

しかし、大きな欠点もあります。アメリカは二大政党制で、多くの州はどちらかの政党の地盤になります。その州の選挙人は必ずその政党の候補に行きます。大統領選挙での目的が選挙人の過半数を獲得するだけということで、その地盤州で選挙活動をしてただの時間とお金の無駄とされています。そのため、その州は候補に無視され、残りの約10州(いわゆる激戦州)に選挙活動が集中されます。激戦州の過半数を確保すれば、ほとんどの場合は選挙も勝ちます。

それでも変な結果になってしまう可能性があります。それは一般選挙に負けても選挙人団で勝って、選挙に勝つことです。実際、ブッシュ大統領やトランプ大統領はこうやって大統領になりました。一般選挙で相手の地盤州に大きく負けても、相手に行く選挙人数は同じなので、激戦州の過半数を獲得できたことで選挙に勝ちました。

これは国民の意思を反映しているわけではない上、現在の交通や通信手段では直接選挙が可能になっている理由で、選挙人団をなくすべきという声が最近になって聞こえてきました。



小坂町役場庁舎等の電話番号

※土日祝日及び夜間は
総務管財班(TEL29-3901)へ

▼役場本庁	
総務課	
総務管財班 (総務)	29-3901
(管財)	29-3923
企画財政班 (企画)	29-3907
(財政)	29-3903
町民課	
町民生活班	29-3928
(戸籍)	29-3906
税務班	29-3904
福祉課	
町民福祉班	29-3925
まるごと支援班	
(保健センター)	29-3926
(地域包括支援センター)	29-2950
観光産業課	
観光商工班	29-3908
農林班	29-3912
建設課	
建設班	29-3910
水道班	29-3911
出納室	
農業委員会	29-3913
選挙管理委員会	29-3901
議会事務局	29-3914
監査委員会	29-3914
町史編さん室	29-4133

▼出張所	
十和田出張所	0176-75-2351
▼ほっとりあ	
七滝支所	29-2219
七滝公民館	29-3411
▼セパーム	
教育委員会事務局	
総務班	29-2342
学習振興班・小坂公民館	29-2069
▼その他施設	
歯科診療所	29-5254
あかしゃ荘	29-2434
ゆーとりあ	29-3221
川上公民館	29-2344
郷土館	29-4726
図書館	29-2207
向陽体育館	29-4446
屋内温水プール	29-5362
みんなの運動公園	080-8206-5331 ※期間中のみ
小坂中学校	29-3232
小坂小学校	29-2422
康楽館	29-3732
小坂鉱山事務所	29-5522
孫左衛門	29-3777
小坂鉄道レールパーク	25-8890
七滝活性化拠点センター	29-3827